

健康のひろば

—4—

地元医師がアドバイス

最近、時々めまいやふらつき、足のしびれなどの発作があり、心配しています。

(美深・主婦、六十七歳)

☆

めまい、しびれは頭痛とともに、日常診療で遭遇する患者さんの訴えの中で最も多い三大症状です。めまいは患者が

んによって訴えている状態が違いため、次のことを確認する必要があります。

①どういう性質の

ものか②随伴症状があるのか③どのような時に起きるのか④どの位続くのか。

めまいの診断をする時には、めまいが回転性か、非回転性かを確認することが重要です。

回転性のめまいとは周りの景色がグルグル回っているように感じるものです。めまいを感じている時に、頭痛、聴覚症状(耳鳴り、難聴など)などの随伴症状がないかどうかも確認します。

このタイプのめまいは耳(前庭系)の異常によるものです。代表格はメニエール病と良性発作性頭位変換めまいです。メニエール病は発作的に強い回転性のめまいが起り、

同時に多くは片側の耳鳴りと難聴を伴います。またしばしば悪心、嘔吐、不安感などが見られます。良性発作性頭位変換めまいは頭の位置を変えたときに起きる数秒間の短いめまい発作です。聴力は正常で、ほかに神経症状を伴うことはありません。中年の女性に見られる比較的多い疾患です。

非回転性のめまいはただフラフラするものです。このめまいは二種類です。一つは「立ちくらみ」

気が遠くなり、倒れそうになることもあります。貧血、起立性低血圧、高度の動脈硬化などが疑われます。もう一つは「ふらつき」です。

いつもフラフラ、フワフワ浮いた感じがする(浮動感)とか、なんとなく揺れている感じ(動揺感)がするものです。軽度の内耳障害のこともありますが、多くは中枢性(小脳が脳幹部)の平衡障害が起きている可能性があります。

「ご相談の内容から時々めまいが発作的に起きていること、同時に手足のしびれ

を認めていることから耳鼻科的な疾患は考えにくく、首の骨の病気(変形性頸椎症など)による頸性めまいの可能性が高いと考えられます。

いずれにしても情報量が少なすぎ、これ以上の鑑別診断は困難です。専門医を受診してきちんと診断してもらうことをお勧めいたします。

ご相談の内容から時々めまいが発作的に起きていること、同時に手足のしびれ



(片平外科・脳神経
外科学院長・齊藤武志)

めまいふらつきしびれ